

令和 5 年度総務委員会活動報告

1. 会議等の開催状況

- 第 1 回委員会 令和 5 年 9 月 27 日(水)
オンライン+東京大学附属図書館 3 階中会議室
- 第 2 回委員会 令和 6 年 3 月 4 日(月)
オンライン+東京大学附属図書館 3 階中会議室

メールによる審議

- ・ 7 月 24 日発 7 月 31 日承認
令和 5 年度総務委員会事業計画について
- ・ 7 月 31 日発 8 月 10 日承認
ビジョン 2025 重点領域 2 企画今年度活動方針について
- ・ 8 月 22 日発 9 月 5 日承認
第 71 回国立大学図書館協会総会の開催日程・方式について

2. 活動内容

- (1) 「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について(審議のまとめ)」への対応

国立大学図書館協会としての対応について各委員会委員長館と検討の上、会員館の取り組み状況について情報収集を行い、協会ウェブサイトで公開・発信した。今後収集した情報の分析を行うとともに、事業支援などの検討を行う予定である。

- (2) ビジョン 2025 重点領域 2(場の提供)の企画の実施

重点領域 2 の推進のため、昨年度に引き続き、総務委員会と人材委員会で担当者チームを設置し、今後の方策を検討した。昨年度会員館から募集した『「知の創出:新たな知を紡ぐ<場>の提供」に係る取り組み』の事例のうち、新たに 6 件の事例について該当館の担当者へインタビューを行い、詳細を協会ウェブサイトに掲載した。

また、募集事例に基づき、ライブラリー・スキーマをテーマとしたセミナーを企画し、実施要項・プログラムの案を作成の上、理事会へ上程した。その後、理事会でメール審議し、国立大学図書館協会セミナーとして開催することを決定した。

令和 5 年度国立大学図書館協会セミナー「オープンサイエンス時代における<場>としての大学図書館:事例から見るライブラリー・スキーマ」は 1 月 26 日(金)に Webex ウェビナーでオンライン開催し、399 アクセスの参加があった。

- (3) ビジョン 2025 推進事業の状況確認

人材委員会(令和 4 年度予算措置)および資料委員会(令和 5 年度予算措置)のビジョン 2025 推進事業について、各委員会に現在までの活動ならびに今後の計画等の確認を行った。

- (4) 令和 6 年度国立大学図書館協会賞

10 月 31 日を期限として令和 6 年度協会賞を募集し、4 件の応募があった。委員会設置要項 3(2)に基づき協会賞専門委員会を設置し、また協会賞専門委員会要項第 4 条により三重大学の山中節子国際・情報部長(兼)DX・情報課長を委員長に指名し、同専門委員会において選考を行った。

同専門委員会から選考結果の報告を受け、総務委員会での協議により選考結果を了

承し、春季理事会に報告することになった。

(5) 「オープンサイエンスの推進に向けた協会の行動計画」の評価・総括
オープンサイエンスの推進に向けた協会の行動計画(令和元年12月27日)の評価・
総括について検討を行った。

(6) 国立大学図書館協会ビジョン2025 総括および次期ビジョン策定
国立大学図書館協会ビジョン2025 総括および次期ビジョン策定について、意見交
換を行った。

(7) 今後の総会に関する意見交換
第70回総会の参加者アンケート回答を確認するとともに、今後の総会の運営につい
て意見交換を行った。

3. 委員構成

凡例 ○:令和6年3月31日まで

●:令和6年4月1日から

委員長:	坂井修一	東京大学附属図書館長
委員:	城恭子	北海道大学附属図書館管理課雑誌受入担当係長○
	//	北海道大学附属図書館利用支援課北図書館担当係長●
	佐藤初美	東北大学附属図書館事務部長
	熊渕智行	筑波大学学術情報部長○
	斎藤未夏	筑波大学学術情報部長●
	竹内比呂也	千葉大学附属図書館長
	大山努	東京大学附属図書館事務部長
	成澤めぐみ	信州大学附属図書館管理課長○
	小島浩子	信州大学附属図書館事務長●
	大藪千穂	岐阜大学図書館長
	櫻井待子	名古屋大学附属図書館情報サービス課長
	赤澤久弥	京都大学附属図書館利用支援課長
	久磨由美子	岡山大学附属図書館学術情報サービス課調査相談グル ープ主査
	大村武史	九州大学附属図書館収書整理課雑誌情報係長
事務局:	久保田壮活	東京大学附属図書館総務課長○
	佐藤久美子	東京大学附属図書館総務課長●
	小川夏代子	東京大学附属図書館総務課企画渉外チーム係長